9 月 28 日-10 月 4 日

エレミヤ 38-39 章

---

102 番の歌と祈り | 開会の言葉（1 分）　星 延宏 | 米山 英行

神の言葉の宝



エベド･メレクがエレミヤを救出する許可をゼデキヤに願い求めている。

1. これからも仲間と支え合う（10 分）　梅原 直行

エベド･メレクに倣って，仲間のために行動する。（エレ 38:7-9。塔 13 1/15 9 ページ 12 節）

エレミヤに倣って，安心させる言葉を掛ける。（エレ 39:15-18。塔研 19.11 6 ページ 17 節）

エレミヤに倣って，エホバに従うよう促す。（エレ 38:20）

考えてみよう 自分は会衆の中で誰の支えになれるだろうか。（塔研 20.09 24 ページ 15-17 節）



姉妹が，最近母親を亡くした友達を慰めている。

2. 宝石を探し出す（10 分）　長谷川 貴史

エレ 39:6，7 バビロンの王は，そこリブラで，ゼデキヤの目の前で彼の子たちを殺させ，ユダの高貴な人たちも全て殺させた。 7 それからゼデキヤを失明させ，バビロンに連れていくために銅の足かせをはめた

ゼデキヤ王はどんな間違った選択をしたか。家族の頭はそこからどんなことを学べるか。

（エレ 92 ページ 1 節）ヨシュアは，だれに仕えるかを選ぶようにとイスラエル人に勧めた後，こう言いました。「***わたしとわたしの家の者***とはエホバに仕えます」。（ヨシュ 24:15）ヨシュアは神に忠節であろうと決意しており，自分の家族も忠節を保つと確信していました。それよりずっと後の時代，エルサレムの滅びが近づいていた時，エレミヤはゼデキヤ王に，バビロニア人に降伏すれば「***あなたも，あなたの家の者も***，必ず生きつづける」と告げました。（エレ 38:17）ゼデキヤ王は選択を誤り，その結果，自分も妻たちや子たちも悲惨な経験をしました。目の前で息子たちを殺され，自分は盲目にされ，捕虜としてバビロンに連れて行かれました。—エレ 38:18-23; 39:6，7。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(39:18)エベド・メレクに与えた救いに関する何重もの保障の言葉は、エホバがご自分に信頼を示したことを高く評価されていることを示すもの。私たちも比較的平和な環境にいる今からささいなことでもエホバに頼る習慣を身に着けていきたい。

3. 聖書朗読（4 分）エレ 38:1-13（教励 第 12 課）　**水品 安章**

伝道を楽しもう

4. 会話を始める　**枝並 あや子 愛込 9–3 吉田 明美**

（3 分）日常生活の会話。異常気象を心配している人に聖書レッスンを勧める。（愛込 レッスン 9 ポイント 3）

5. 再び話し合う　**石原 里佳 愛込 9–5 伊藤 本子**

（4 分）日常生活の会話。子供がいる人に聖書レッスンを勧める。（愛込 レッスン 9 ポイント 5）

6. こんなときどうする？　**阿部 直生 教励 1–4**

（6 分）討議。家から家の伝道。愛込 レッスン 1 ポイント 4 を簡単に振り返る。挿絵に注意を向けてから次の質問をする。



この絵からどんなことが分かりますか。どんな質問をして会話を始めたいと思いますか。

聖書に書かれているどんなことを伝えたいと思いますか。

クリスチャンとして生活する

90 番の歌



7. 「触ったのは誰か」（15 分）討議。　**田中 慶一**

動画を再生する。次の質問をする。

・どうすれば相手から良いところを引き出して，学ぶことができますか。⇒イエスはお父さんエホバと同じように人を見るよう努力した。相手の言動の背後にあるものを理解したいと思ってそのために時間を取り、一緒に過ごして相手のことを知りたいと思った。相手がどんな問題と戦っているかを知りその人の信仰に触れたい、その人の心の奥深くにあるものを知りたいと思った。

・どうすれば周りの人の心に触れる存在になれると思いますか。⇒自分は大事にされている感謝してもらえている自分には居場所があると感じられるような雰囲気を作る。仲間が全てをありのままに話せるようにし、兄弟姉妹への理解を深め、その人の信仰の手本に注目する。

1 日が終わりの眠りに着く前に、今日一緒に過ごした誰かがあなたに**あなたの心に触れたか？**

でももっと大事なことは、誰のために時間をとって**その人の心に触れることをしたか？**

8. 会衆の聖書研究（30 分）勇 10 章　**長谷川 瑛一｜米山 英行**

閉会の言葉（3 分）｜56 番の歌と祈り　**吉田 忍**